

## 街頭防犯カメラの設置・保守事例



株式会社たけのうち電器 第二営業部 課長 高田 敏宣

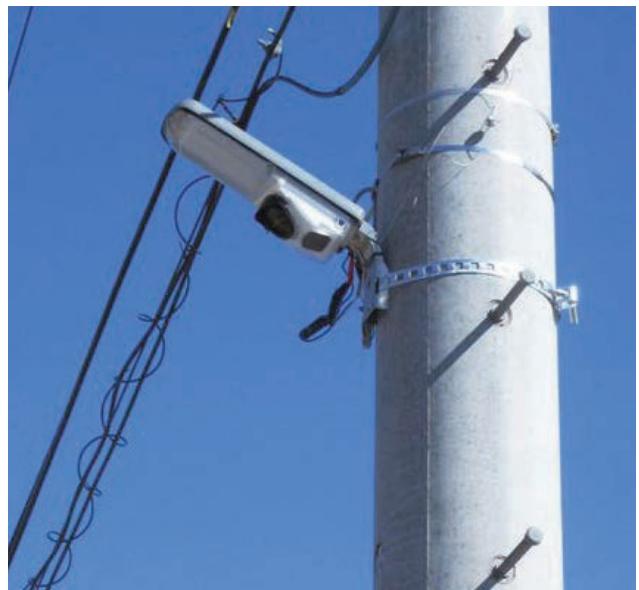
弊社は、群馬県の北部に位置する沼田市に本社を置き、電気工事・電気通信工事・ソフトウェア開発、ネットワーク構築、太陽光発電所工事・家電品販売など幅広く事業を展開しています。官公庁や自治体を中心に法人・個人を問わずお客様と関係を築かせていただき、公共工事などを柱として事業を行っています。今回はこの様な機会を頂き、弊社で実際に業務を行っている街頭防犯カメラの設置・保守事例について紹介させていただきます。

私が担当する自治体では、市内400台を超える街頭防犯カメラを設置し、小中学生を中心とした安全・安心の向上や、繁華街など犯罪の発生する蓋然性の高い箇所での犯罪の予防と被害の未然防止を図っています。

特に繁華街に設置してあるカメラについては、犯罪、交通事故、不正な客引き行為、運転代行業者の駐車違反などを抑止及び摘発するための設置となっており、より良い社会形成の一助になっているとの自負があります。



防犯カメラ



防犯カメラ一体型防犯灯

ご覧いただいている皆様におかれましては、釈迦に説法ではございますが、街頭防犯カメラの設置については、設置する場所、機器、運用方法について行政と十分に協議を行い、要求する機能や目的を達成し、且つ最適なコストで実施する必要性があります。

私の担当する自治体では、街頭防犯カメラにSDカードレコーダー内蔵型のカメラを採用しています。本機器は映像の鮮明さや運用上の理由からネットワークカメラを採用しており、無線LANを使用してカメラの下方から必要な動画ファイルをダウンロードする形式となっています。

無線LANは様々な電子機器に内蔵され、非常に便利に運用ができる反面、セキュリティ上に不安が残る構成となります。また、セキュリティ面を向上させるためにメーカーなどから出荷された状態のまま使用すると、パスワードが各機器によって異なることが発生し、運用面で煩雑となります。弊社では運用面の利便性とセキュリティ面を考慮して、自治体、群馬県防犯設備協会と協議を行い、暗号化の形式やパスワード、その他各種設定などについて決定しています。

また、設置状況と自治体の目的に応じて、フォーカスや絞り、赤外線照射のON/OFF、WDRの使用有無など日中・夜間のそれぞれの映像を確認し、カメラごとに設定を行い設置しています。

弊社では、設置工事から引き続き保守点検業務も請け負っており、年6回程度点検を実施し、その中でカメラの映像調整や、不正ログインの有無、レンズ部の清掃、機器不良、無線LANの混線状況等についても確認を行い、円滑な街頭防犯カメラの運用が行える一助となるよう、協力させていただいている。保守点検を行う際に心がけていることは、特に夏季の暑い時期に機器不良の発生確率が上昇する傾向が顕著なため、年間を通して一番暑い8月に点検を実施し、動作の確認及び軽微な不良を未然に発見する様心がけています。



点検業務

印象的な事例としては、特定の箇所で、元来は一般的な犯罪抑止のためのカメラ設置であった地点で、運転代行車の不正駐車が急増、対策として自治体担当者よりナンバープレートの数字を確認したいとの旨の要望を受け、夜間に調整を実施、担当者と協議確認の後に日中には、ほとんどハレーションを起こし、視認性がないものの、夜間のナンバープレート視認に特化した設定を実施し、取り締まりに活用できた箇所もありました。

先般、その他の自治体や官公庁からご相談を頂く際に、既に導入している街頭防犯カメラについて、ご相談を頂くこともあります。その際に、夜間明かりのほとんどない低照度の箇所に赤外線もなく、低照度対応もしていないカメラが設置されている事例や、購入したままの機器が設置されていて、ハレーションやフォーカスがオートフォーカスのままでも、監視対象に焦点が合っていない事例などが散見されます。

折角、地域の安全・安心を向上するために街頭防犯カメラを導入するのに、上記の様な事例では同じ予算を掛けたとしても、要求と大幅に乖離した設備の構築となってしまいます。

この様な事例を防ぐためにも、防犯設備士が増加し、不適切な街頭防犯カメラ設置事例の絶無の実現を希望しています。私個人としては更なる知識・経験を積み、群馬県防犯設備協会と連携を取りながら群馬県ならびに日本全体の安全・安心の向上の一助となるよう努力していきたいと考えております。